

全木連時報

10月25日(金曜日)

(第535号) (毎月25日発行)

平成14年(2002年)

発行所
 社団法人 **全国木材組合連合会**
 編集兼 後藤 隆一
 発行人
 東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
 URL <http://www.zenmoku.jp>

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

『全木連時報』の購読料は年会費に含まれています。



第二十七回全国木材産業振興大会

築け木材新時代、改革・創造・挑戦

名古屋市で盛大に開催

全木連・全木協連が主催する第二十七回全国木材産業

振興大会は、全木連東海支部・愛知県木連の担当により、

十月十七日に名古屋市の名古屋国際会議場で開催された。

第一部の大会議事では別掲の宣言を満場一致で決議。引

き続いて第二部の記念講演、第三部の表彰式を行い、こ

の後、懇親会に移り、盛況のうちに閉幕した。

午後一時三十分の開会に先立ち、

二〇〇五年日本国際博覧会のプロ

モーションビデオを上映。

国歌斉唱の後、岐阜県木連伊藤

会長の開会のことばに続いて、物

故者への黙とうを行い、大会を担

当した愛知県木連上地会長が歓迎

挨拶をした。

大会会長の久我全木連会長は、

別掲の挨拶を行い、つづいて来賓

の農林水産大臣(代理・加藤鐵夫

林野庁長官)、国土交通大臣(代理

・水流潤太郎木造住宅振興室長)、

神田真秋愛知県知事が木材産業を

激励する祝辞を述べた。

最後に、別掲の宣言決議を静岡

県木連新聞会長が朗読提案し、直

ちにこれを満場一致で決議して大

会議事を終了した。

なお、宣言決議は、関係機関、

国会議員等へ送付し、周知と願

目次

一面 全国振興大会を名古屋市で

開催し、業界の総意をもつ

て宣言を決議 多数の来賓

出席のもと盛況に開催

二面 功労者等を表彰

三面 木材需給見通しを下方修正

八千五百六十万円台に

四面 景況調査

午後二時三十分から記念講演と

して、時事評論家の増田俊男氏が

「日本経済出直しの時」のテーマ

で一時間半にわたって講演した。

この後、表彰式に入り、加藤林

野庁長官の祝辞のあと、退任団

体長 木材産業功労者 協同組合

事業功績者・優良組合の各表彰の

順で式が進んだ。表彰後、受賞者

を代表して愛知県の下谷勝彦氏が

謝辞を述べた。(受賞者名別掲。)

最後に、来年の開催地担当を代

表して、中谷近畿支部長が挨拶し、

長野県木連若松理事長が閉会のこ

とばを述べて、とどこおりなく大

会は終了。

午後五時三十分から、同会場の

レセプションホールで懇親会が開

かれ、盛況のうちに閉幕した。

大会会長挨拶

社団法人 全国木材組合連合会
会長 久我 一郎

本日ここに、第三十七回全国木材産業振興大会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

ここ名古屋国際会議場は、中京経済圏の中心に位置し、東西の文化・経済の交差点ともいえる所であり、また二〇〇五年にはこの愛知県において環境をテーマとした愛知万博が開催されることになっており、まさに木材業界が悲願としている木の文化復活の誓いを発信するのに最もふさわしいところと言えます。

本日は大変ご多忙の中、農林水産大臣、国土交通大臣、林野庁長官、総合食料局長、愛知県知事、愛知県議会議長をはじめ、多数のご来賓のご臨席と、全国各地から多数の会員、友好団体の皆様のご参加を得て、盛大に開催できることを、心より光栄に存じ、厚く御礼申し上げます。

また、本日、栄えある表彰を受賞される方々には、長年にわたるご精進とご労苦に対し深甚の敬意を表しますとともに、衷心よりお祝い申し上げます。

宣言決議

- 一、木材産業構造改革プログラムを積極的に推進しよう
- 二、木材利用を推進し、地球温暖化防止に貢献しよう
- 三、消費者の信頼を高める乾燥材、

さて、昨年の東京国際フォーラムにおける本大会は二十一世紀最初の大会にふさわしく、木材新時代の到来を願って、木材新時代、消費者視点への発想の転換」をスローガンとして掲げ、大会宣言では、木材産業の構造改革、木材利用の推進、JAS規格材・乾燥材の供給、新技術開発、WTO林産物関税の堅持等」の当面する重要課題について、行政のご支援を得つつ業界の自助努力を誓い合いました。

この一年間我が国経済は、デフレ傾向のもとでなお深刻な状況が続いております。最近の経済報告によると、本年度の実質経済成長は当初予想をやや上回り対前年比プラス〇・四％程度になると見られていますが、失業率は依然として

新JAS製材品の安定供給に努めよう

四、木材利用の拡大を通じ健康・環境に貢献しよう

五、真の環境配慮型産業への再生を目指そう

六、違法伐採材の輸入を拒否し、WTO林産物関税を堅持しよう

て高く、円高も一向に収まらず、株価の下落に加えてアメリカの経済にかげりが出てきたことなどを考慮すれば、実感としては、まだまだ我が国経済の回復は遠いと言わざるを得ません。このような暗いニュースばかりの中で、日本の科学者二人がノーベル賞を同時受賞するという快挙に、我が国の科学技術のレベルの高さをあらためて認識すると共に、これを契機として技術立国、日本の経済再生が期待されます。

しかし、長期化する不況と住宅投資の低迷は木材産業のみならず、地域の森林・林業にも重くのしかかって来ています。木材業界は出口の見えない不安定な経営環境下にあっても、自らの構造改革を急ぐと共に、消費者の視点に立った発想への転換とその実行を改めて決意し、各般の事業を推進して

確な木材の供給体制の整備、バイオマスエネルギー利用や技術開発

の支援、木材利用の推進への努力、秩序ある木材貿易の確立等、早急に対応しなければならぬ事案は山積しております。

さて、先の国会で地球温暖化防止のための京都議定書が批准され、炭酸ガス排出量を六％縮減することが国際約束になってまいりました。この目標を達成するため、そのうち三・九％を森林の炭酸ガス吸収能力に依存することになって

循環型資源である木材は、この目標達成にとって極めて重要な役割を果たしております。すなわち木材利用の推進が図られることによつて、活発な森林経営と健全な森林育成のための活動が可能になるのであり、木材資源の再生産を通じた、炭酸ガス吸収こそが地球温暖化を防止する切り札になるからです。

そのためには木材産業が担う役割は大きなものがあります。昨年成立した森林・林業基本法

においても、木材の利用推進の担い手は木材産業であり、木材産業の活性化が森林・林業の活性化に欠かす事のできない重要な役割を果たしていると位置付けられました。このためにも木材産業への行政当局による財政的、制度的支援策を具体的に検討頂くよう関係方面に要望しているところであります。

業界を取り巻く状況はこれからさらに厳しくなるものと思いますが、木材業界は森林・林業のパートナーとして、また地域の数少ない産業として、引き続き重要な役割を果たしていく決意です。ご列席の関係行政機関、関係団体の皆様のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり、準備万端整え、お迎えいただいた全木連東海支部上地支部長始め皆様のご尽力に厚く感謝申し上げます、私のご挨拶といたします。

野上幸男 全市連 竹内弘

北海道 三津橋雄孝・横道俊彦
千葉昌一・奥山 彰 岩手 本宮将 宮城 伊藤忠文 秋田 鈴木稔 林晋介 加賀谷正人 能登一 福島 滝澤俊夫 朝田宗弘 茨城 常井滋 栃木 益子和重 群馬 須永和三郎 堀川正一郎 埼玉 金子尚市 千葉 桐谷實 露崎昭三 山梨 深澤俊 東京

栄えの受賞者(敬称略)

前大会以降退任団体長表彰

全木連会長感謝状

三重 樋口幸一

全木協連会長感謝状

新潟 本間元弘 三重 樋口幸一 山口 富田重興 原木 一條興一

木材産業功労者表彰

林野庁長官感謝状

秋田 片谷博光 埼玉 木村卓司 愛知 待井雄介 滋賀 大江利男 島根 浦田昭一 広島 菊池建 愛媛 井関和彦 福岡 小野泰治 大分 野田忠美 宮崎

全木連会長表彰状

野上幸男 全市連 竹内弘
北海道 三津橋雄孝・横道俊彦
千葉昌一・奥山 彰 岩手 本宮将 宮城 伊藤忠文 秋田 鈴木稔 林晋介 加賀谷正人 能登一 福島 滝澤俊夫 朝田宗弘 茨城 常井滋 栃木 益子和重 群馬 須永和三郎 堀川正一郎 埼玉 金子尚市 千葉 桐谷實 露崎昭三 山梨 深澤俊 東京

(単位：千㎡)

木材(用材)の需給の実績と見通し

年次	需					要					供					
	総数	製材用	合板用	バルブ・チップ用	その他用	総数	国産材		工場残材		輸 入 材					
							丸太	林地残材	丸太	丸太	製材	合単板	チップ	バルブ	その他	
平成7年	11,930	50,384	14,314	44,931	2,301	111,930	22,915	18	6,280	89,015	25,874	15,982	6,993	26,411	11,990	1,765
8年	112,325 (100.4)	49,758 (98.8)	15,726 (109.9)	43,822 (97.5)	3,018 (131.2)	112,325 (100.4)	22,483 (98.1)	14 (77.8)	6,443 (102.6)	89,842 (100.9)	25,126 (97.1)	16,188 (101.3)	8,415 (120.3)	26,361 (99.8)	11,248 (93.8)	2,503 (141.8)
9年	109,901 (97.8)	48,339 (97.1)	15,252 (97.0)	43,736 (99.8)	2,574 (85.3)	109,901 (97.8)	21,564 (95.9)	13 (92.9)	6,266 (97.3)	88,337 (98.3)	22,966 (91.4)	17,119 (105.8)	8,422 (100.1)	26,406 (100.2)	11,327 (100.7)	2,097 (83.8)
10年	92,056 (83.8)	37,161 (76.9)	11,146 (73.1)	42,140 (96.4)	1,609 (62.5)	92,056 (83.8)	19,316 (89.6)	15 (115.4)	6,299 (100.5)	72,725 (82.3)	18,597 (81.0)	10,582 (61.8)	6,082 (72.2)	25,721 (97.4)	10,541 (93.1)	1,201 (57.3)
11年	97,810 (106.3)	41,178 (110.8)	13,705 (123.0)	40,956 (97.2)	1,970 (122.4)	97,810 (106.3)	18,762 (97.1)	25 (166.7)	6,166 (97.9)	79,048 (108.7)	18,787 (101.0)	15,081 (142.5)	8,181 (134.5)	25,295 (98.3)	10,144 (96.2)	1,560 (129.9)
12年	99,260 (101.5)	40,946 (99.4)	13,825 (100.9)	42,186 (103.0)	2,303 (116.9)	99,260 (101.5)	18,019 (96.0)	32 (128.0)	6,537 (106.0)	81,241 (102.8)	18,018 (95.9)	15,913 (105.5)	8,424 (103.0)	26,661 (105.4)	10,320 (101.7)	1,904 (122.1)
13年見込み	91,937 (92.6)	36,955 (90.3)	13,082 (94.6)	39,429 (93.5)	2,471 (107.3)	91,937 (92.6)	16,573 (92.0)	32 (100.0)	5,903 (90.3)	75,364 (92.8)	16,040 (89.0)	14,348 (90.2)	8,424 (100.0)	25,721 (96.5)	8,759 (84.9)	2,072 (108.8)
当初見通し	90,011 (97.9)	35,698 (96.6)	12,814 (98.0)	38,939 (98.8)	2,561 (103.6)	90,011 (97.9)	16,069 (97.0)	32 (100.0)	5,702 (96.6)	73,942 (98.1)	15,303 (95.4)	14,034 (97.8)	8,298 (98.5)	25,785 (100.2)	8,360 (95.4)	2,162 (104.3)
見直し	85,631 (93.1)	34,081 (92.2)	12,497 (95.5)	36,784 (93.3)	2,270 (91.9)	85,631 (93.1)	15,973 (96.4)	32 (100.0)	5,909 (100.1)	69,659 (92.4)	14,532 (90.6)	13,063 (91.0)	8,032 (95.3)	24,276 (94.4)	7,845 (89.6)	1,912 (92.3)

資料：平成元年～平成12年は林野庁「木材需給表」、平成14年当初見通しは平成14年9月3日、平成14年見直しは平成14年9月に策定した数値である。 4. 内は、工場残材を利用した木材チップの需給量であり、製材用等に丸太換算して含まれているため外書きとした。
注：1.輸入材のうち、製材、合単板、チップ、バルブ及びその他は、丸太換算材種である。
2.本表には新製材及びびいたけ原木を含まない。
3.平成3年からは、輸入の構造用集成材が需要のその他に含まれている。
5.()内は、前年比(%)である。
6.数値の合計値は、四捨五入のため一致しないものがある。

- 阿部稔・高梨忠男・西和彦・津村進也・田中敬皓 新潟 清田巳三郎・鈴木武 富山 船屋幸弘 石川 山田義次 福井 中村長治 長野 妻島清一 古清水寛 浅井勝 岐阜 後藤直剛 平野正彦 静岡 清水寛 土屋良一 遠藤英地 鈴木重俊 伊達公一 滝浪豊 島山博美 金森誉 愛知 山田康雄 村瀬幹敏 吉田重俊 磯部文夫 伊藤一良 三重 川村丈夫 坂義明 滋賀 大澤義憲 千里 大坂 貴多野泰夫 佐々木健一 松田一彦 奥森正弥 兵庫
- 上野八郎・柴原正樹 奈良 辻本昇一 和歌山 千田勝 岩橋行伸 鳥根 山本真人 岡山 向井秀明 有田輝雄 広島 寒川起佳 黒田隆義 川本幹雄 山口 河野俊一 徳島 宮北嘉則 香川 白井恒夫 愛媛 林満茂 高知 岡村博形 福岡 高尾清正 溝口規矩男 松本新雄 岸幹夫 長崎 西村俊輔 熊本 倉水基徳 大分 上田啓一 宮崎 持永宏一 沖縄 渡辺忠孝 全市連 小杉弘夫 ツーバイフォー 真田信典 プレカット 海野林作(四面へ続く)

木材需給見通しを下方修正

林野庁・需給対策中央協

林野庁は九月二十六日に木材需給対策中央協議会を開催し、三月に策定した平成十四年の木材需給見通しの見直しを行い、当初の見通し値を四百三十八万㎡引き下げた。

これにより平成十四年の需給量見通しは、前年比六・九%減の八千五百六十三万一千㎡となる。

平成十三年に続いて、需要減による木材不況を色濃く反映した見通しである。

需要面では、製材用、合板用、バルブ・チップ用、その他用とも全部門で見通し値を引き下げた。

このうち、集成材を含む「その他用」は、当初見通しでは、唯一前年比増加が見通されていたが、最も値を引き下げた。

近の入荷減の影響のため、これもマイナスとなった。

一方、供給面でも、国産材、輸入材とも見通し値を引き下げた。

国産材は、前年比三・六%減の千五百九十七万三千㎡、輸入材は、前年比七・六%減の六千九百六十五万九千㎡である。

引き下げの幅は、国産材では、わずかであるが、輸入材では大きく、丸太、製材、合単板、チップ、バルブ、その他の全部門とも見通し値を引き下げた。

景況調査 = 全木協

9月分集計表 ()内は実数

【流通部門】 モニター数131 回答数82 回収率63%

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include monthly and next month status for sales volume, quantity, price, and input price.

Table with 4 columns: Material, Strong, Stable, Weak. Rows include 3-month forecast for rice, foreign, domestic, and building materials.

Table with 4 columns: Interest, High, Moderate, Low. Row for interest in wood processing.

【製造部門】 モニター数114 回答数58 回収率51%

Table with 4 columns: Item, Increase, No Change, Decrease. Rows include monthly and next month status for sales volume, quantity, price, and input price.

Table with 4 columns: Material, Strong, Stable, Weak. Rows include 3-month forecast for rice, foreign, domestic, and national materials.

Table with 4 columns: Order status, 1 month or less, 1 month, 1 month or more. Row for order lead times.



林野庁長官感謝状
北海道 岩寺一之 問屋 長井
幸彦 原木 市川英治 静岡 伊
藤昭三 愛知 下谷勝彦 兵庫

協同組合事業功績者・
優良組合表彰

芦田喬 岡山 鳥越康生 熊本
上野忠博 鹿児島 田之頭隆秀
全木協連会長表彰状
宮城 大谷俊一 泉田昭夫 秋
田 秋田県木材チップ協同組合
秋田県大断面木構造協同組合 福
島 目澤泰二 茨城 須田公一
星勇 栃木 田村英二 二ノ宮英
寿 埼玉 梨木芳太郎 嶋村敬
千葉 紫関弘 大胡徳蔵 問屋
名倉敬世 渡辺昭 和田安嗣 重
内光夫 材商 大沼幸之助 中木
均 多田邦彦 原木 内山信博
富山 田邊嶽之 石川 越田清市
長野 浅井清 大島健裕 堀内
猪佐夫 岐阜 熊澤秀雄 小池正
勝 静岡 鈴木和夫 笠野義男
八木政次 望月康生 愛知 渥美
郡木材商工協同組合 躬藤慎碩
三重 福田哲明 奥川雅雄 滋賀
市木材協同組合 大阪 塩野孝
鈴木清 兵庫 揖龍木材協同組合
・野村昌弘 奈良 庄司依兵衛
田村喬 和歌山 瀬古伸廣 島根
隠岐島木材製材業協同組合
岡山 岡崎稔 広島 郷健司 藤
間英文 山口 山口県ウツドシス
テム協同組合 徳島 加村てるみ
香川 中村勝利 愛媛 松田恒
生 福岡 松尾剛至 近藤修 熊
本 黒藏楠男 山口 登 大分 香
川正樹 鹿児島 眞茅誠 沖縄

お役に立ちます
林業・木材産業信用保証

平成14年4月から推進資金の貸付利率が下がりました。
(例 旧2.1% 新1.5%)

詳しくは、当基金、都道府県林務担当課、関係団体の当基金相談員、
もよりの金融機関へお問い合わせ下さい。

農林漁業信用基金

後楽事務所(林業部門)
副理事長 高橋 勲

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12(林友ビル5階)
TEL 03(3813)5371 FAX 03(3812)8842
ホームページアドレス http://www.mmjp.or.jp/kikin
メールアドレス kanrisitu@tokyo.email.ne.jp